

町議会 だより

Nagayo Town
Assembly
Newsletter

9月定例会

- ◎町の家計簿をチェックしました -- 02
- ◎B型肝炎予防接種
委託料などを予算化 ----- 04
- ◎11人が問う 一般質問 ----- 08
- ◎議員報酬に関する
調査特別委員会を設置 ----- 22

平成28年10月19日発行
長崎県長与町議会



笑顔あふれるエイサー踊り（ふれあい広場の祭典）

町の家計簿をチェックしました

平成27年度 一般会計決算

28年第3回定例会を、9月6日から26日まで開き、27年度一般会計・特別会計各決算など全18議案を慎重に審議し全議案可決しました。

歳入 129億7070万円

歳出 123億5361万円

主な質疑

問 地域支え合いICTモデル事業の失敗は、機器の不具合である。メーカーの責任だと思う。説明はあったのか。

答 メーカーから、基盤の汚れが原因との説明があった。

問 マイナンバーの交付状況はどうか。

答 8月末現在で、交付件数が、2802件。交付率は、約7%。

問 フッ化物洗口事業について、薬剤の保管はどうしているのか。また、5年間の県の事業だが、継続についてはどう考えているのか。

答 養護教諭が中心となり実施しているが、薬剤の保管方法については確認する。継続についても、今後検討する。

問 町民体育館のトレーニングマシンを更新したが、利用状況はどうか。

答 27年度は、8180人が利用。前年度比20.2%アップ。使用料も、21.6%アップの87万1520円である。

問 入浴施設利用補助券の選択肢を増やした方が、制度の目的に合うのではないか。

答 健康保持増進の目的での事業である。いろいろな意見があるので、高齢者を含め検討していきたい。

反対討論

開発事業のあり方の転換が重要

町民の税の滞納のほとんどが生活困窮者型である。徴収強化を基本に事務執行しているが、貧困型の滞納に対する徴収対応に疑問が残る。また、高田南土地区画整理事業への一般会計繰出金を見直すのであれば、住民の要望に応えるための財源は捻出できない。開発事業のあり方を大きく転換する事が不可欠である。
(堤)

賛成討論

バランス感覚を持った町政運営に期待

補助事業、委託事業についても根本的な体質改善を目指してもらいたい。さまざまな課題を見据えた自治体運営、自治体経営をしなければ、未来の本町を後世に託すことはできない。現実を直視し、バランス感覚をしっかりと持った町政運営を期待する。
(金子)

幸せな社会構築を・予算が適正に執行

乳児3、4ヶ月検診時のブックスタートは、親子の親密度がアップし、かなりの成果が上がった。少子高齢化に向かい、社会福祉費の増大を見込み、子どもからお年寄りまで幸せに暮らせるかが問われる。財政力指数・将来負担率・実質公債比率を見てみれば、いずれも健全な範囲だ。予算が適正に執行されている。
(安部)

主な事業ピックアップ

防災行政無線デジタル化へ

防災行政無線デジタル化整備事業 1億987万円

アナログ式からデジタル化へ整備の更新
防災情報伝達システムの強化2カ年事業
27年度～28年度実施(親局・子局ほか)

テレビを利用し高齢者の簡易な
見守りと地域情報の提供

地域支え合いICTモデル事業 395万円

百合野地区の100世帯を対象に実施
27年度で終了

コンビニエンスでの納付可能により 利便性アップ

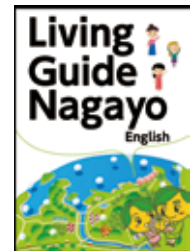
収納推進対策事業 450万円

収納推進専門委員を雇用し、町税などの滞納者
に対し、納税交渉や指導助言
27年度収納率は96.13%(滞納収納率含む)

町内在住外国人支援

生活情報誌 「Living Guide Nagayo」作成 176万円

- 英語版 400部
- 韓国語版、中国語版 各250部



親子の豊かな「ふれあい」 ブックスタート事業開始

乳児の3・4カ月 検診時の本の 読み聞かせ・進呈 127万円



教育環境の充実図る

長与小学校 体育館吊天井 撤去工事 5662万円



子どもの支援の環境づくり 子ども・子育て支援事業

幼児教育・ 保育サービスの 量と質を確保 10億9469万円



オリーブ等による特産品開発

農産物加工 施設整備事業 3734万円



全会一致
可決

農産物加工施設の解体費・B型肝炎 予防接種委託料などを予算化

平成 28 年度 長与町一般会計補正予算（第 3 号）

28年度一般会計に9178万2千円を追加し、総額124億3376万4千円となりました。

農産物加工施設の
解体工事費 1400万円

農村の生活改善のため、昭和56年三根地区に建設され、みそ、ジャムなどの加工食品が製造されてきました。築35年が経過し、老朽化してきたため、今回解体するものです。

B型肝炎の予防接種を委託
554万1千円

法律の改正により、B型肝炎の予防接種が必要となったもので、平成28年4月1日以後に生まれた0歳児が対象となります。町内では約430人が接種対象です。

航空写真撮影事務委託
844万円

固定資産の評価替えに伴い、課税客体を把握するための委託料。

電算システム運用開発
委託料 786万円3千円

ヴェューテラス北陽台団地の地番変更に伴う委託料。旧住所と新住所を照らし合わせて、新しい住所に変更するためのプログラムを作成するもの。
(302万4千円)

マイナンバー制度の施行に伴い、国民健康保険と介護保険、児童福祉システムの総合運用テストをするための委託料。
(483万9千円)

町道管理の委託
974万円

長与ニュータウン中央線（バス路線等）、道の尾稜の木場線の街路樹の剪定のための委託料。

橋の維持補修工事
1200万円

橋の長寿命化を図るための補修工事。今回は本川内橋の工事で、コンクリートのひび割れによる侵入水防止のための工事。

全会一致
可決

長与第二中学校外壁工事改修工事 請負契約締結 9028万8千円

平成28年第1回長与町議会臨時会は、7月21日開催されました。

今回の工事は、長与第二中学校の校舎外壁改修工事として、校舎全棟の外壁のクラック、浮き部の改修、爆裂箇所をの改修を行い、その後、全面的に防水塗装を行う工事になります。

主な質疑

問 どのような工事になるのか。

答 補修工事関係になる。ひび割れ、クラックが入っている部分もあるため、工事の現場で新たに見つかった場合は契約変更となる。

問 これだけの大々的な補修工事になった原因は何か。

答 経年劣化によりクラックなどが入り、そこに雨水が入ったことが考えられる。

問 安全対策は万全か。

答 仮囲い、バリケードなど、業者と打ち合わせをし安全確保を考えていく。

整備が進む浦上水源池付近

認定
賛成13:反対2

27年度 土地区画整理事業特別会計決算

歳入 6億9586万円

歳出 6億7988万円

○27年度末 工事進捗率

道路整備	50・1%
宅地造成	54・4%

主な質疑

問 現在、仮住まいをしている世帯数は。

答 31世帯で最長17年の世帯がいる。

問 27年度に、工事がどの程度進んだのか。

答 道路築造が417メートル、宅地造成が0・6ヘクタールである。公園整備については工事をしていない。

反対討論

財政に大きな影響を与えている

この事業が長与町の財政に大きな影響を与えると指摘してきたが、今その現実が押し迫っている。責任は明らかに町にある。
(河野)

賛成討論

思い切った決断力で早期の完成

この事業の早期完成を目指すことこそが、行政ならびに議会の責務とされている。
(浦川)
財政厳しい中、予算配分は町長の専権でもある。思い切った決断力で早期の完成を目指すべきである。
(竹中)



三千隠線切土工事（浦上水源池側より）



区画整理事業完成模型（浦上水源池側より）

**全会一致
可決**

28年度補正予算

国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ289万5千円の追加補正を行い、総額8610万9千円となりました。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ203万7千円の追加補正を行い、総額4億4413万6千円となりました。27年度の繰越額が確定したことによるものです。

介護保険特別会計補正予算（第1号）

（保険事業勘定）
歳入歳出それぞれ2億5090万4千円の追加補正を行い、総額32億262万3千円となりました。

（介護サービス事業勘定）

歳入歳出それぞれ1168万7千円の追加補正を行い、総額3439万3千円となりました。

長崎都市計画事業長与町土地区画

整理事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1600万円の追加補正を行い、総額8億948万8千円となりました。

認定

賛成13: 反対2

特定健診・特定保健指導の
受診率アップを図る

27年度国民健康保険特別会計決算

国民健康保険の被保険者

世帯数 53500世帯
被保険者数 93233人

社会保険診療報酬支払基金

- 療養給付費交付金 1億3382万円
- 前期高齢者交付金 2億3526万円
- 前期高齢者交付金 12億7069万円
- 後期高齢者支援金 5億112万円
- 介護納付金 1億9061万円
- 前期高齢者納付金 2億1678万円
- 老人保健拠出金 40万円

その他の歳入

- 一般会計からの法定の繰入金 2億2794万円 (1億6654万円)
- 前年度の繰越金 3392万円 (1億9486万円)
- 保険税の延滞金など 270万円 (549万円)
- 財産収入 3万円 (1万円)

その他の歳出

- 総務管理費、徴税費等 2383万円 (2371万円)
- 特定健診事業費 4092万円 (3918万円)
- 一時借入金の利子の支払い 0万円 (11万円)
- 被保険者への還付金など 4896万円 (4462万円)

歳入 48億6511万円
歳出 49億7178万円

国民健康保険財政
調整基金の残高
1350万円
(3170万円)

- 国民健康保険税 7億8423万円 (8億958万円)
- 督促手数料 42万円 (51万円)

医療機関等

保険給付費 31億329万円 (30億5066万円)

被保険者が医療機関を利用すると、医療費の7割分が保険給付費として国民健康保険団体連合会を通して医療機関に支払われます。

県支出金 2億121万円 (2億1476万円)

国庫支出金 10億8928万円 (10億8419万円)

共同事業交付金 11億88万円 (4億3054万円)

共同事業拠出金 10億6268万円 (4億7684万円)

県

国

国民健康保険団体連合会

※ () は26年度決算額

反対討論

払える保険税に

一般会計からの繰り入れなどで対応し、本来払える保険税に引き下げ、財源を安定させることだ。(河野)

賛成討論

受診率アップを図る

特定健診、特定保健指導の受診率アップを図った。また、人間ドック、脳ドック、重症化予防事業など疾病予防、早期発見に取り組む。(饗庭)

用語解説

医療給付費交付金

退職者(勤務20年以上40歳以上で10年以上の勤務)の保険給付費の財源

前期高齢者交付金

65~74歳の者の保険給付費の財源

後期高齢者支援金

74歳以下の者が納める後期高齢者医療への支援金

介護納付金

第2号被保険者が介護保険を支援する金

共同事業交付金

高額医療に対する交付金

共同事業拠出金

県内市町の高額医療費の平準化を図るための拠出金

認定

賛成13: 反対2

27年度介護保険特別会計決算

歳入 27億8644万円
歳出 25億1563万円

被保険者数 9799人
被認定者数 1716人

反対討論

制度改悪が繰り返される

家族介護から社会で支える介護へのスローガンを掲げ導入されたが、制度改悪が繰り返されている。(河野)

賛成討論

適正な介護給付を

日常生活支援事業が移管される。介護予防事業の重点化を図り、適正な介護給付の執行に期待。(饗庭)

反対討論

安心して医療を受けられるように

高齢者が安心して、医療を受けられる制度に、すべきである。(河野)

賛成討論

堅実な経営に期待

収納率はほぼ100%であり、今後も堅実な経営が期待できる。(西岡)

27年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入 4億2715万円
歳出 4億2512万円

被保険者数 4468人

認定

賛成13: 反対2

三根・本川内配水管布設替工事 道ノ尾配水池築造工事などに 2億2151万円

全会一致
認定

水道事業会計決算

収益的収入	7億9610万円
収益的支出	6億5560万円
資本的収入	9958万円
資本的支出	3億8132万円
給水戸数	15,650戸
年間総配水量	3,639,002m ³
一日平均配水量	9,943m ³



道ノ尾配水池築造工事

問 随意契約を続ける理由は何か。

答 契約している事業が、近隣市町よりも安価で対応している。警備員削減などで労務単価の設定を競争させるなど計画している。

主な質疑

青葉台マンホール蓋改築 吉無田地区マンホール改築工事などに 1億4332万円

全会一致
認定

下水道事業会計決算

収益的収入	11億1753万円
収益的支出	9億5246万円
資本的収入	1億2452万円
資本的支出	3億8909万円
水洗化戸数	15,692戸
年間総処理水量	4,187,570m ³
一日平均処理量	11,441m ³



青葉台マンホール蓋改築工事

問 処理区域の中で本管が整備できない地域などの見直しは。

答 長距離になる区域や河川、線路で分断されている地域があり状況も含め見直しを考えている。

主な質疑

用語解説

収益的収支…主に維持管理の関係
資本的収支…主に設備投資の関係

収入＝使用料、負担金
収入＝補助金、借入金

支出＝維持管理費、人件費
支出＝事業費、償還金

一般質問

11人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

掲載ページ

9	岩永政則 議員	① 長与町行政改革大綱について ② 新図書館の建設について
10	山口憲一郎 議員	① 町の農業振興について
11	饗庭敦子 議員	① 入札・契約制度について ② クラウドファンディングや民間の活用について
12	竹中悟 議員	① 町長のリーダーシップについて
13	分部和弘 議員	① 町長が思う「まち」づくりについて
14	金子恵 議員	① 補助金のあり方について
15	西岡克之 議員	① 本町の教育政策について ② 本町の道路交通政策について
16	中村美穂 議員	① 榎の鼻土地区画整理地内に建設予定の大型商業施設について ② 子どもの遊び場について
17	河野龍二 議員	① 大型商業施設と地元商店の共存共栄について ② 放課後児童健全育成事業について
18	堤理志 議員	① 世代交代を見据えた住宅改修、住宅政策について
19	安部都 議員	① LGBT（性同一性障害）に対する対応と取り組みについて ② 災害時の防災対策と要配慮者・避難行動要支援者への対応について

行政改革大綱 取り組みの成果は



いわなが 岩永 まさのり 政則 議員

回答 給与の適正化により人件費を抑制

■ 議員 本町の行政改革大綱は平成23年新たに第4次長与町行政改革大綱を策定され今日に至っている。この計画には6点の基本方針があり、(1)事務事業の見直し (2)組織機構の見直し (3)定員管理および給与の適正化 (4)人材育成の推進 (5)財政の健全化 (6)地域協働の推進と行政の透明化の確保となっている。この方針により、簡素で効率的な行政運営を進めることとされてきた。そこで、6項目の取り組みの状況と成果について伺う。

■ 町長 6つの基本方針の取り組みと成果だが、(1)の事務事業の見直しについては、事務事業評価により実施方法の研究・試行錯誤を重ねながら不断の見直しを行ってきた。(2)組織の見直しについては、今年度機構改革を行った。(3)定員管理および給与の適正化計画により、人件費の抑制につながっている。(4)の人材育成の推進については、庁舎内研修、実務研修等を行ってきた。人事評価制度の導入により、職員の能力開発による住民サービスの向上にもつながるものと考えている。(5)の財政の健全化についてはコンビニ納付を実施し、納付環境の整備を行い、納付時における利便性の向上を図った。また、徴収業務の一元化については収納率および徴収率の向上に取り組んでいる。(6)の地域協働の推進と行政の透明化の確保については、子育て支援、高齢者の見守り、地域の安全確保、地球温暖化対策などの分野で、地域住民の助け合い、相互扶助の精神に基づいた参画・協働が不可欠となっている。行政の透明化の確保については、ほっとミーティング（町長が地域に向かい行政の報告をするなど）を実施。また、広報誌やホームページで公表している。

■ 議員 第5次計画の策定について、どのように取り組んできたのか。

■ 町長 第4次大綱の改定は行わず、実施計画の見直しを行った。今後もより一層行政運営の効率化に取り組む。

問 図書館建設の時期はいつか

答 大型事業のめどがついた時着手



放置されたままの、図書館建設予定地

期はどのようになっているのか。

■ 町長 現在進行中の都市計画道路西高田線および高田南土地区画整理事業など、大型の公共事業の進捗を踏まえ、有利な国庫補助の活用を絶対条件として進めていかなければならないと考えている。大型事業の早期完成に努め、一定のめどが付いた段階で着手する。こういった事情から、建築費やその財源、建設時期等は示すことはできない。



やまぐちけんいちろう
山口憲一郎 議員

どう取り組む 町の農業振興

回答 経営の強化と担い手の拡大を図る

■ 議員 農業生産者の減少は、町の農業基盤の弱体化につながる大きな問題である。高齢化の急速な進展などで、後継者不足となっているが、農業所得の向上を図ることで担い手不足の解消につながるのではないかと考える。どのような対応を行っているか。

■ 町長 柑橘農家の所得向上につながるブランド率向上を図る指定園制度や、品質向上対策の推進を図っている。また、観光農園や本町の都市近郊に位置した地理的環境を活用して、新たな事業に取り組む農業者の支援を行い、農業経営の強化と担い手の拡大を図っていく。

■ 議員 町の耕作放棄地は年々増加しているように見受けられる。これまでも農家・行政・農協が連携して、さまざまな施策を行ってきたが、その成果が見られない。効果ある対策が必要と思われるが、どのように対応していくのか。

■ 町長 農業従事者の高齢

化や農地の急傾斜地など作業効率が悪く中山間が多く、耕作放棄地の防止対策には苦慮しているのが実態である。そのような状況の中で、中山間地等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などを利用して、発生防止につながる農地や道路・水路の維持管理を行っている。また、岡郷においては、耕作放棄地再生利用交付金を活用した耕作放棄地の再生を図る取り組みも行われることとなっている。

■ 議員 全国的に高齢者の農作業中の災害が多くなっているが、農業災害の撲滅についてどのように取り組んでいるか。

■ 町長 農作業の事故を防止することは、農業生産の振興や農業経営の安定を図るうえで、基本的かつ重要なことである。農業委員会と連携した町の農作業労働者災害対策協議会が組織化され、事故防止の啓発に取り組んでいる。

■ 議員 具体的な取組について、どのような対応がなさ

れているか。

■ 町長 労働基準監督署主催による「みかん採取栽培にかかる労働災害防止説明会」を開催している。さらに、西彼農協による事故防止パンフレットの配布や、春・秋の農繁期には事故防止に向けホームページやポスターの掲示により、安全意识の向上を図っている。

■ 議員 さまざまな課題が山積する農家の相談窓口として、農業支援センターが開設されたが、具体的にはどのような支援を行っているか。

■ 町長 新規就農者に関する相談や、農地の貸し借りおよび斡旋、さらには、有害鳥獣被害防止対策、道路・水路・農地の基盤整備関係など幅広い範囲で相談を受け付けている。



新たな加工・開発にGo！（長与カラフル）



入札契約の全体を把握せよ

回答 把握する必要がある

■ **議員** 28年7月21日の議会臨時会で「長与第二中学校校舎外壁改修工事請負契約の締結」の議決をした。入札時に18社のうち15社が失格し、予定価格が8451万4千円で、最低制限価格が7684万7千円とのことであった。失格した業者のうち1番低い入札価格と最低制限価格の差は2300万円ほどあったとのことである。町の厳しい財政の現状では、経営的視点に立ち、コストをはじめ多角的な検証が行われているか疑問が少々残った。そこで、委託契約の競争性・透明性の確保の考え方を伺う。

■ **町長** 長与町公共工事等の発注見直し、入札結果等、指名理由および契約内容等を公表している。

■ **議員** 業務委託は何件あるのか、指定管理者制度を導入しているのか。また、公契約としては何件あるのか。

■ **総務部長** 業務の委託に關して、各所管に任せており、

全体は把握していない。

随意契約

■ **議員** 随意契約は全体契約の何%か。

■ **部長** 把握していない。

■ **議員** 随意契約の26年度と27年度の金額の差はいくらか。

■ **部長** 把握していない。

■ **議員** 入札契約について質問したが、全体的に把握していないことが多いが、その点に關してどう思うか。

■ **町長** 全体として何%かというものは、やはり把握する必要がある。

■ **議員** 随意契約が1社で長いのはなぜか。

■ **契約管財課長** 同じ業者と長く契約している所もあるが、その都度見積もりをして安いところと契約をしている。

■ **議員** 27年3月議会で落札率が90%を超えたら不正の疑いがあるのではないかという答弁があり、27年度の入札で、入札が52件中、18件が



平成元年開館 築55年以上経過
早く新しくなりたいな

90%以上だったがどう考えるか。

■ **副町長** 27年、28年となると、90%前後が最低制限価格になってきており、18件とは競争させたということ、85%ぐらいになった場合は失格になっている。

問 クラウドファンディング活用

答 図書館整備にはなじまない

■ **議員** 財政が厳しい中、補助金にも限界があるので、※クラウドファンディング

※クラウドファンディング

「群衆 (Crowd)」と「資金調達 (Funding)」を組み合わせた造語であり、アイデアを実現するために必要な経費を、アイデアに共感した不特定多数の人々から集める資金調達手段のことである。ホームページや SNS を活用して少額からの資金提供を呼びかけるため、資金調達のリスクを低減することができる。

を取り入れ新図書館建設に積極的に活用する考えはないか。

■ **町長** 事業費が大きいということから図書館整備にクラウドファンディングというのはなじみにくい。

新しい発想

■ **議員** 新しい発想がないといつまでも図書館ができないのではないか。

■ **町長** 自主財源の確保、起債制度、国・県の補助金、PFIなどで考えていく。



たけなか さとる
竹中 悟 議員

どちらを優先 高田南と図書館

回答 財政を逼迫 高田南のめどが先

■ 議員 高田南土地地区画整理事業については、昭和59年都市計画決定、62年本体着工、総面積49.8ヘクタール、総事業費28.1億3千万円の超大型事業である。すでに30年が経過し経費も230億円を超えている。また、地権者の環境は最悪である。既に死亡された人もいて、仮設住宅の不便さに我慢の限界である。更に町の財政にも大変な負担を強いられている。今回、町長は第9次総合計画および新聞紙上で早期の完成を明言している。完成に向けての指針・手法を尋ねる。

■ 町長 まず現状を把握し財政負担のシミュレーションを行い、残事業の一括施行ができないか国および県と連携しながら町財政に重負担にならないよう努力する。

■ 議員 財政厳しい折から高田南土地地区画整理事業と図書館の建設どちらを優先するのか。

■ 町長 高田南土地地区画整理事業を優先する。



工事の進む役場横架橋

■ 議員 都市計画道路路西高田線は28年度役場横架橋よりツインキャッスル横640メートル完成の予定である。現況の進捗状況はどうか。

■ 町長 28年度工程については予定通り推進している。

■ 議員 問題は先線の高田踏切までの区間である。構想はどうなっているのか。

■ 町長 早急に高田踏切および現道の改良が必要と考える。

■ 議員 高田踏切は電車通過時相当な渋滞となる。改善の具体的な構想はないのか。

■ 町長 現在、新設区間の工事と並行して、現計画にあるループ橋の廃止、歩道幅員の見直し、高田踏切の拡幅などについてJRRや警察と協議を行っている。今後、都市計画決定および事業認可の変更手続きを進める。

各種委員の選任

■ 議員 執行機関ならびに各種委員の選任および任期について尋ねる。

■ 町長 学識経験者や各種専門員の中から選任し、町政運営に尽力してもらっている。

■ 議員 在任期間および重複委員が多いと思うが、行政指導はできないのか。

■ 町長 委員の専門的な見地から意見を徴収し、幅広く反映し社会経済情勢の変化に対応する。

■ 議員 後進の道を開いたらどうか。

■ 町長 委員の実態を把握し検討する。

職員研修について

■ 議員 職員の民間企業の研修および海外研修はどうか。

■ 町長 現在専門研修、階級別研修を行っている。海外研修については、グローバル化する現状の中、必要性は感じる。厳しい財源などさまざまな要件を考慮し取り組みたい。



町長が思う「まち」づくりは

回答 住んでよかったと言われる「まち」

■ 議員 町長が思う「まち」づくりについて、幸福度日本一のまちを目指す3点のキーワード「子育て」「教育」「介護」の重要施策はどうか。

■ 町長 「子育て」では、子育て全般の悩みに対応する子育て相談専門員、発達の特性に関する悩みに対応する発達相談専門員、要支援や要保護児童に対応する虐待防止専門員を配置し、適切な支援につなげている。「教育」では、学校支援会議の充実を目指し、地域と学校づくりを推進し、地域・家庭・学校の一体的な教育力向上、生涯学習社会の基盤づくりに向けた施策を進める。「介護」では、新しい介護予防・日常生活支援事業を近隣市町に先駆け10月から実施する。今後も、引き続き長与に住んでよかったと言われるまちづくりを目指す。

■ 議員 コンパクトシティ構想実現に向けた今後の課題と取り組みはどうか。

■ 町長 道路の整備・公共

交通網の充実・商業機能の強化が課題であると捉えている。都市計画道路路西高田線、および役場前橋梁の整備を本年度中の完成を目指す。また、29年春に大型商業施設の開業が予定されている。これらを踏まえ、新たな公共交通の導入についての検討に着手した。

■ 議員 「まち」づくりについで、自治会、コミュニティとの連携状況はどうか。

■ 町長 地域のことを最もよく知る住民自らが、まちづくりに参画し地域の特性を生かし取り組みを行って行くことが、重要であると考えている。今後も、各種の活動において連携を深め、活動の推進や組織の自立に向けた協力を図っていく。

■ 議員 スポーツを通じた健康づくりについての、今後の取り組みはどうか。

■ 町長 「町民体育祭」や「町民ソフトボール大会」などの各種大会を開催すると共に、スポーツが苦手な人で

も、誰もが気軽に楽しめ、軽スポーツやニュースポーツが普及するよう「町民体育館スポーツ講座」や「エンジョイスポーツ講座」を開催し、健康づくりへの意識の高揚を図る。

■ 議員 住民の安全安心に向けた生活環境（道路環境・大気環境など）の取り組み状況についてはどうか。

■ 町長 路面性状調査を行

い、来年度より、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、緊急性の高い箇所より改修する。クリーンパーク長与の稼働に伴い大気測定を28年2月に実施した。また、排出ガス濃度ならびに周辺大気の測定値については、自主規制値および国が定める基準値より低い数値となっている。



住んでよかったと言われるまちづくりに向けて



かね 恵 議員

補助金の横断的把握 評価を

回答 基本の方針を作成し見直していく

■ 議員 町が運営・活動のために交付している補助金は何件か。また、総額はいくらか。

■ 町長 28年度は32件、5173万2千円（団体の運営・活動補助金のみ）である。

■ 議員 町単独補助金は全体で約3億円、2.5%くらいになる。さまざまな補助金を交付しているが、傾向・特徴はどうか。

■ 財政課長 団体の運営活動補助金などが占めている。

■ 議員 町の代行的な事業をしているものに関しては、見直しという枠内で考えることはできないと思う。補助金ではなく委託という考え方もある。表記の問題と思うがどうか。

■ 課長 町補助金団体で移行するところもあるかもしれないが、現在は適切に処理されていると考えている。

■ 議員 申請は要望者側からなされるのか、行政側から声を掛けて申請してもらうのか、仕組みを伺う。

■ 課長 どちらの場合もある。その中でも申請の意思があるにも関わらず機会を逃すことがないように配慮している。福祉関係は団体と連携しながら行っている。

■ 議員 長年、継続して交付しているが、期間はどうか。

■ 課長 32件中、不明が12件。10年くらいが5件、10年以上が15件となっている。

■ 議員 ここが問題であると思う。長期に渡っているのは、目的が達成されていないのか、必要性があり継続しているのか。その点の確認は行っているのか。

■ 課長 意向に関しては、所管ごとに確認している。妥当性に関しては事務事業評価、ヒアリングなどで一定の評価をしている。

■ 議員 町が立ち上げた組織で余剰金が高額になっているものはないか。

■ 課長 ある。見直しを検討している。

■ 議員 返金、補助金交付

をやめるなどの対処が必要と思うがこの点も見直しを行うのか。

■ 課長 自主財源を確保している場合もある。しかし、適正に執行されていない場合は、返還などで調整する。

■ 議員 横断的に把握・評価が必要である。「実施計画」をどのように進めていくのか。

■ 総務課長 補助金の見直しに関し、すでに着手している。今まで、所管ごとに行っ

てきたが、総務課・財政課・各所管と一緒に目的妥当性・公平性・有効性・適格性について比較検討していく。今後、基本的な方針を作成して見直しを進めていく。

■ 議員 一定の基準、期限などを設けたものを明文化するという事か。

■ 課長 そのとおりである。



さまざまな角度からの行財政改革が望まれます

全国学力テストの結果は

回答 今回の結果はまだ出ていない



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

■ 議員 本年も全国統一学力テストが実施されたが、結果はどうか。

■ 教育長 本年4月19日小学6年生と中学3年生を対象に実施されたが、報道されているように、現段階では文科省のデータ集計漏れミスで、公表が遅れている。全国、県の平均正答率についても不明だが、独自の情報では、本年度もこれまで同様の結果になるだろうと予測している。平均正答率にこだわらず、子どもたち個別の学力向上に向け具体的に指導していく。なお、同時期に実施された長崎県独自の中学校英語学力調査においては、結果をすでにインターネットなどで公表している。それによると、本町は平均点75・1点で県内自治体トップだった。

■ 議員 全国統一テストの成績が判れば公開するののか。

■ 教育長 機会があれば公開する。

■ 議員 結果が出てないの分析が出来ないが、今後の

課題は何か。

■ 教育長 現在、我が国の課題は学力の「2極化」があり、OECD加盟国内でも同じだ。日本は成績では上位に位置しているが、2極化の下部が他国に比べて多い。本町でも同様で、そこに対してきめ細かな指導が必要だ。

問 町内道路の渋滞対策は大丈夫か

答 県など関係機関と対策に向かう

■ 議員 本町では国道206号のような慢性的な渋滞は見られないが、近年部分的な渋滞が見られる。渋滞は環境に過剰な負荷や、経済的、時間的損失を生む。具体的には県道33号の道の尾交差点や高田越交差点付近で渋滞が顕著に見られる。今後解消に向けてどう取り組むのか。

■ 町長 当該箇所は渋滞はいつでも国道206号の渋滞による影響で、町道から流出する台数が確保できずに町道内で渋滞している状況だ。今

後、同町道から道ノ尾駅を経由し、岩屋交差点までの道路を長崎市において施工中である。供用開始すると町道内の渋滞も解消に向かうと考える。

■ 議員 榎の鼻交差点はどうか。

■ 建設産業部長 車線整備や西高田線の供用開始など渋滞緩和に向け、関係各所と協議していく。現在計画整備し

ている「西彼杵道路」および「長崎南北幹線道路」の未整備区間の早期完成に向けて要望活動をしていく。



渋滞はいつになったら解消するの



なかむら みほ 中村 美穂 議員

大型商業施設の開業時期は

回答 29年5月下旬と聞いている

- 議員 榎の鼻土地区画整理事業地内に建設予定の大型商業施設の開業時期はいつか。
- 町長 29年春、5月下旬の予定と聞いている。
- 議員 役場前の橋梁の工事の完成予定は一部遅れがあると聞いていたが、完成予定はいつか。
- 建設産業部理事 橋梁完成予定は29年3月である。
- 議員 施設の概要については、どのように聞いているか。
- 町長 スーパーマーケットを核とし、数店のテナントが入る予定で、詳細については契約の件で答えられない。
- 議員 駐車場台数は何台か。
- 建設産業部長 370台である。
- 議員 雇用はどれくらい見込めるのか。
- 部長 具体的な新規雇用の人数はわからないが、町内の雇用は相当数あるのではないかと期待を寄せている。



大型商業施設 渋滞対策も気になります

- 議員 既存の店舗が共存していく対策はあるのか。
- 町長 相乗効果がでるような仕組み、支援をしたい。
- 議員 現在でも渋滞している箇所があるが、この施設の開業による渋滞対策はどのように聞いているのか。
- 町長 交通渋滞緩和を図るため、商業施設入口部、県道の交差点部、町道側の交差点部において右折待ち車線の長さを警察と協議し、設計し

- 議員 休日に親子で何度も訪れたいと思うような、子どもの遊び場が少ないと思うが、何か計画していることはあるのか。
- 町長 公園を新しく設置する計画はないが、昨年度、上長と公民館横の広場に滑り台の更新を行った。今年度は百合野児童公園のリニューアル工事を行い、子どもための遊具設置のみならず、健康遊具を設置し、町民が各年代一緒に使うことができる公園造りを行っている。
- 議員 中尾城公園のスパイルスライダーは事故のため休止されているが、今後はどうするのか。

問 子どもの遊び場の計画は

答 新しい計画はない



もっと遊具が増えるといいな～

- 建設産業部長 今後の対策については早急に検討していきたい。
- 議員 総合運動公園遊具の今後の変更や改善について予定はあるのか。
- 町長 ゆっくりと進めたい、何度も訪れたいと思われるような広場になるよう、遊具の設置については、専門家の意見も聞きながら、改善に努めていきたい。



大型商業施設への町から奨励金は

回答 申請がまだないので動向をみる



町の活性化になるか 大型商業施設

■ 議員 「長与町工場等設置奨励条例」では、町内に新設・増設する工場などに固定資産税相当分を奨励金として交付するようになってきている。今回進出する、イオンタウン（株）には条例が該当するのか。

■ 町長 事業者から工場設置などの申請が提出されていないので、今後の動向により協議していきたい。

■ 議員 事業者のホームページでは賃貸との説明がある。条例では、土地を取得した場合とあるので、賃貸では

条例に該当しないのではないのか。

■ 建設産業部長 賃貸店舗は該当しないが、商業施設の中には土地を取得する場合がありますので、動向をみていく。

■ 議員 条例の規則では、着工前の申請が必要とあるが、9月1日に起工式があり、出されていないのであれば該当しないと思うがどうか。

■ 産業振興課長 起工式が着工とは思っていない。実際の工事が始まるのが着工と考えている。

奨励金額は

■ 議員 条例に該当する場合、奨励金額はどれくらいか。

■ 町長 商業施設の完成後、課税額が決定しないと分からない。

■ 議員 町内商店との共存共栄の対策はどう考えているか。

■ 町長 まちゼミ事業や個店魅力の向上など、大型店との差別化

など支援している。

■ 議員 大型商業施設の協力が必要と思う。事業者と共存共栄について協議したのか。

■ 課長 地元産物の販売スペースの確保などを依頼した。

■ 議員 本当の共存共栄を望むなら、協議の場を持つべきではないか。

■ 町長 機会があれば行いたい。

■ 議員 大企業の責務を明確にできる「中小企業振興基本条例」を制定するべきだと思っがどうか。

■ 町長 他市町の動向をみて検討したい。

問 利用者は増える
早急な取り組みを
充分精査し対応する

■ 議員 学童クラブは条例制定後、基準に向けた整備は進んでいるか。

■ 町長 条例の基準を上まわっている状況。

■ 議員 条例制定から5年をめぐりに整備するとの事だったが間に合うか。

■ 町長 施設整備に取り組んでおり、達成できるように取り組んでいる。

■ 議員 適正数の40人を超えこのままでは確実に待機児童を出す。早急に取り組むべきと思うがどうか。

■ ことも政策課長 登録数と利用者数の差がある。実際の利用者数でみれば現状でも対応できると思う。

■ 議員 登録している児童があれば、実際の利用は増える可能性がある。早急な政治判断が必要と思うがどうか。

■ 町長 充分精査し対応したい。



つみ さとし 議員

若年世帯の住宅改修に補助せよ

回答 三世代の同居・近居に補助を実施

■ 議員 27年12月議会で「本町の住宅団地は高齢化の進行とともに、空き家が増えていくことが想定される。そこを若い世代が購入し居住する際、改装費の一部を補助してはどうか」「人口増加策を視野に入れた住宅リフォーム助成が検討できないか」と質問していたが、その後どうなったのか。

■ 町長 空き家の情報収集を行っている。今後データベース化を進め、既存住宅の流通や、移住・定住促進のための活用に向けて検討していく考えである。

■ 議員 三世代の同居・近居のリフォームや、中古住宅取得に町が補助する制度を始めた。住民の反響はどうか。

■ 子ども政策課長 現在の3件の問い合わせがあっている。

■ 議員 広報8月号での案内掲載が小さかったため、見損ねた住民が多かった可能性があるのではないか。

■ 課長 たしかに掲載が小

さかった。別のチラシを作るなどしており、さらに周知に努めたい。

■ 議員 要綱には「自ら所有する住宅」となっているが、住宅ローンを完済していない住民も可能なのか。

■ 課長 可能である。

■ 議員 リフォームにあたって建築の専門的な問い合わせがある際、建設部門と子育て部門との連携がもっと必要ではないか。

■ 課長 連携を図りながら対応していきたい。

■ 議員 国、県の補助を受けて実施しているが、次年度からも継続するのか。

■ 課長 来年度以降の補助金の動向が定かでないのが現状である。

■ 議員 若年層の定住促進、人口増加策であるので継続して実施しないと意味がない。県などに補助の継続を要望すべきではないか。

■ 課長 継続を要望していきたい。

■ 議員 「まち・ひと・しごと

と創生総合戦略」では、若年層、子育て世代への家賃補助を掲げているが、どうなっているのか。

■ 町長 本町の子育て環境や、教育環境が内外から高い評価を得ているという強みを活かした取り組みであり、転入促進に効果的だと考えている。対象世帯の要件、支給期間、将来にわたる費用の試算など、導入の可能性を含め検討していきたい。



町の補助でピフォーアフター、快適生活



性同一性障害等への取組は

回答 人権にかかると重要な課題

■ **議員** LGBT（性同一性障害含む）についての教育委員会や町の考えはどうか。

■ **教育長** LGBTは、性的指向に関する少数派を指し、Tは、性自認に関する少数派を示し、総称して、セクシャル・マイノリティと呼んでいる。性的指向を理由とする差別的扱いは不当なことという認識が広がっているが、偏見や差別が起きているのが現状だ。人権に掛かる重要な課題と認識している。

■ **議員** 教育委員会、教職員、保護者、子どもたちへの理解と周知はどうか。

■ **教育長** 28年4月に文部科学省から「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」が各学校へ出され、理解および周知に努めている。

■ **議員** 理解と周知を図るため、子どもや保護者を対象とした講演会や、授業の中で話し合う機会を設けてはどうか。



「レインボーフラッグ」LGBTの尊重と社会運動を象徴する旗！

■ **教育長** 児童生徒を対象とした講演会や授業での話し合いは、軽々しく実施しないで慎重に取り扱う。無理解や偏見を払拭できる心の砦を一人ひとりに育んでいく。

■ **議員** 対応策として、男女混合名簿を取り入れたらどうか。

■ **教育長** 男女の性差は、生物学的な区別であり、区別は差別ではない。男女混合名簿が対応策の一つであるとは、認識していない。

■ **議員** LGBTの子どもたちにとって、男子、女子と名簿で区別されることが苦痛でストレスとなり差別となっている。混合名簿の導入によって意識しないではどうか。

済むがどうか。

■ **教育長** 校長会でも検討した。現在では必要ないと考える。

問 災害時のインクルーシブ防災を

答 あらゆる人の命を支えていく

■ **議員** ※インクルーシブ防災についてどのように考えるか。

■ **地域安全課長** あらゆる人の命を支えていくという認識だ。障がい者の支援体制を整えるため、今月、話合体和協議していく予定だ。

■ **議員** 災害時、避難所の食糧不足とマンパワー不足が問題となったがどう考えるか。

■ **地域安全課長** あらゆる機関と連絡協定をとって情報に依って対応していく。

■ **議員** 避難行動要支援者名簿作成と、情報提供の体制整備の進捗状況はどうか。

■ **町長** 避難行動要支援者名簿掲載者に対し、同意の有



災害時は、インクルーシブ避難所が必要！

無の意思確認するため、書類の発送準備を進めている。また、支援計画の説明を行い、個別計画書の策定を進めていく。

■ **議員** 災害時の団体や医療関係との連携はどうか。

■ **町長** 医療と連携を強化し、防災会議に委員として委託を検討している。福祉避難所も増やしていきたい。

※インクルーシブ防災
国連防災世界会議で提唱された新たな防災対策の考え方。
障がいのある人もない人も、あらゆる人を包括する防災対策のこと。

議会改革の推進について調査

委員長 饗庭 敦子

●調査期日 7月6日から8日

●調査場所

・ 神奈川県横須賀市 ・ 長野県塩尻市

・ 新潟県上越市

●調査目的

・ 議会改革の推進

●調査内容

●横須賀市

予算決算常任委員会を設置し、同一議員が予算決算審議を行いチェック機能の強化をしている。

市議会と大学が包括パートナーシップ協定を締結。議員研修や大学図書館と議会図書室の連携など積極的に今後取り組んでいく予定。

「よこすか市議会なるほどガイド」議会の活動や仕組み、運営等に関する議会情報を27000部、費用は318万円（117・8円/冊）で発行。

●塩尻市

議会基本条例推進組織が設置され、推進委員会、議会改革政策部会、広報部会、交流部会と全議員が基本条例にそった議会改革に取り組んでいる。

議員発議の条例・議員提案の議案は「空き家条例」などを制定。

傍聴者のへの手話通訳、要約筆記を導入。議会報告会では、報告のテーマを地域に決めてもらい、実施。28年度は10回の報告会を予定。

●上越市

議員発議の条例は、中山間地域振興基本条例、地酒で乾杯を推進する条例、空き家等の条例を制定。

議会報告会は27年度は3回行い、意見交換会は看護大学、上越教育大学とも行っている。

議会ポストを設置し郵送、FAX、メールで市民の声を聴いている。また、本会議や委員会の生中継と録画配信を行っている。

●調査を終えて

視察先は基本条例に基づき改革が進んでいる議会改革の先進地である。長与町でも大学との包括パートナーシップ協定、傍聴者への手話通訳、要約筆記導入、議会ポスト（議会に住民の声を聴く方法）、委員会中継、陳情のあり方などを議員間で議論していく必要があるのではないかと感じた。調査目的である議会改革をさらに推進していきたい。

議会からの情報発信への取り組みなど調査

委員長 金子 恵

●調査期日 7月13日から15日

●調査場所

・ 神奈川県秦野市 ・ 山梨県韭崎市

・ 東京都あきる野市

●調査目的

・ 議会報告会

・ 議会だより編集

●調査内容

●秦野市

議会報告会の開催数は今までに4回ということだが、開催ごとに検討を重ね、住民に参加してもらう取組を行っている。第4回目は2部構成で講演会を開催した。また、マスコミへの情報提供などメディアを利用しての周知方法は少なからず効果が出ているようである。

●韭崎市

議会報告会を小学校校区単位・地元議員を中心に5地区で開催している。各地区の代表地区長と協議し、地区ごとにテーマを設定している。開催に関しては、やりたくないと考えている議員はいない。しかし、報告会が主であるとは考えておらず、政策提言をしていく議会を目指している。

●あきる野市

議会だよりを多くの住民に手に取ってもらえる広報紙にシフトダウンするために、見やすい・読みやすい紙面づくりに重点を置いている。住民参加の記事づくりは号ごとにターゲットを変えるなど、読者を増やす工夫を行っている。

●調査を終えて

本町においては、議会報告会への参加者が少ない点が課題であるが、議会から情報発信をしていく、住民の声を聞くなどの場として参加しやすい実施方法を検討していくべきと考えている。

また、広く伝わる新しい広報・広聴の取組を模索していくとともに、さまざまな観点からの意見を収集するための努力も必要ではないかとも感じたところである。



勝本氏の 教育長任命に同意

勝本 真二氏（長崎市）

9月30日付で任期満了となる黒田教育長の後任として、勝本真二氏の教育長任命に同意しました。

勝本氏は、これまで学校現場において勤務し、20年度から24年度まで本町教育委員会において理事、教育次長を勤めました。人格、識見ともに長与町の教育長としてふさわしいと判断し、同意をしたものです。

人権擁護委員の推薦

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための議案が提出され、全会一致で適任としました。

廣瀬 範三さん（斉藤郷）
佐野 浩子さん（嬉里郷）



災害対応訓練を実施しました

10月4日、長与町議会では長崎地方気象台から講師を招き、災害対応訓練を行いました。今回は、大雨災害が発生したと想定し人的状況、地理的状况を考慮しながら、どのような行動すべきかということをワークショップ方式で検討しました。

大雨災害から身を守るためには

- ・地域の災害リスクを知る
- ・災害に対する知識を持つ

洪水ハザードマップや土砂災害危険箇所図により、日ごろから避難場所や避難ルートを確認しておく必要がある。

情報収集から災害対応は始まりません。テレビ、ラジオ、自治体広報車、防災無線、携帯電話など、さまざまな方法で情報を入手しましょう。事前の情報収集と「いざというとき」の備えをしておくことが大切です。

また、近年思いもよらぬ災害が頻発し、毎年、豪雨などによるさまざまな被害が発生しています。災害とは「まさか」ではなく、「いつか」起こるもの

と認識しておくこと。そして、「自分は大丈夫」と決して思わないことが重要であると改めて考える機会になりました。



大規模な川の氾濫
他人事ではありません



情報収集・早目の判断が大事です

議員報酬に関する 調査特別委員会を設置

議員有志から「議員報酬に関する特別委員会の設置を求める要望書」が議長に提出され、議会運営委員会および全員協議会の協議を経て、特別委員会設置の議案が提案され、全会一致で設置が決まりました。

○委員会名 長与町議会議員報酬に関する調査特別委員会

○目的 議員報酬等に関する調査研究

○委員定数 15人（議長を除く全議員）

○期間 調査終了までとし、閉会中も継続して調査

委員長に山口憲一郎議員、副委員長に喜々津英世議員を選任しました。

第1回特別委員会

9月28日に第1回特別委員会を開催しました。資料として「長与町議会議員報酬の変遷」「長崎県下市（町）長給与、議員報酬比較表」「平成26年度市町普通会計決算の概要」が提出されました。資料に対する質疑は、資料を読み解く時間が必要とのことと、次回に持ち越しました。

特別委員会の運営については、他議会の改定状況、議員の年間活動状況などの資料要求。町民への説明、町民の意見聴取の必要性などの意見が出されました。

①議会に対する町民意識調査の実施

※この件は、議会改革の一環として実施中

②町民および学識経験者の参考人聴取

③議会報告会での説明と意見聴取（準備中）

今後の調査日程等は、議会ホームページでお知らせする予定です。

28年第1回臨時会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川圭一	中村美穂	安部都	饗庭敦子	安藤克彦	金子恵	分部和弘	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	内村博法	
執行機関	長与第二中学校校舎外壁改修工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

28年第3回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川圭一	中村美穂	安部都	饗庭敦子	安藤克彦	金子恵	分部和弘	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	内村博法		
執行機関	長崎県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成28年度長与町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成28年度長与町駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成28年度長与町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成28年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成28年度長与町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成28年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	平成27年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	平成27年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	平成27年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	平成27年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成27年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
長与町教育委員会教育長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議会	長与町議会議員報酬に関する調査特別委員会設置についての決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

(○賛成 ▼反対 ■棄権 一欠席)

※ 議長は採決に加わらないため「※」で表示

議員報酬へのご意見をお聞かせください

第2回特別委員会

長与町議会議員報酬に関する調査特別委員会は10月11日に第2回委員会を開催しました。「市(町)長給与と議長等報酬の比較検証表」などが新たに提出され、質疑や意見聴取を行いました。

議員報酬の改定に当たっては、町民からの意見聴取を必要とし、町民意識調査の実施、参考人の意見陳述の機会を設けることを決定しました。また、町民への説明は、議会報告会の開催による意見交換、議会だよりや議会ホームページでの情報公開などを行う予定です。

意見陳述人を募集

「議員報酬の引き上げに賛成か・反対か」について、意見陳述人として6人を募集します。(応募多数の場合は抽選となります。)

- 応募資格/満18歳以上の長与町民
- 応募方法
 - 応募用紙に住所、氏名、電話番号、議員報酬の引き上げに賛成か反対かを明記し提出ください。
 - 応募用紙は議会事務局にあります。また議会ホームページからダウンロードできます。
- 締切日/平成28年11月11日(金) 17時まで
- 提出先/長与町役場4階 長与町議会事務局

参考人聴取を開催

- 日 時/平成28年11月28日(月) 13時30分開会
 - 場 所/長与町役場4階議事堂会議室
- 傍聴をお待ちしています。

あなたの声を聞かせてください!

町民と議会が直接対話し、まちづくりの課題や議会に関する意見交換の場として、住民懇談会を開催します。

懇談のテーマ

①まちづくりに関すること ②長与町政に関すること ③長与町議会に関することです。

申し込みできるのは

長与町民、その他長与町に関する活動などを行う団体で、おおむね10人以上の参加が見込めるグループとします。(政治団体・宗教団体および、公益以外の営利目的の団体、公序良俗に反する団体などは、懇談会の対象となりません。)

申し込み方法

「住民懇談会申込書」(ホームページからダウンロードできます)に団体名、会議のテーマ、希望日時、参加予定人数をご記入いただき、長与町議会事務局にお申し込みください。FAX、メールでも受け付けます。

申し込み後、開催内容に関する事項について協議させていただきます。

お問い合わせ

長与町議会事務局 TEL:095-801-5700 FAX:095-887-2144
E-mail:gikai@nagayo.jp



議会広報広聴常任委員会では、「笑顔」をテーマに表紙の編集をしています。そこで、住民皆さまから表紙写真を募集いたします。

- 郵送 〒851-2185 長与町嬉里郷659-1 長与町議会事務局 「議会だより表紙写真」行 とご記入ください。
- 持参 役場4階議会事務局まで

※候補となる写真が多数の場合は、掲載されない場合があります。 ※おおむね、1年以内に撮影された写真を対象とさせていただきます。
※掲載にあたっては、写真の季節なども考慮させていただきます。 ※応募される際には、被写体となっている方(未成年の場合は保護者)の承諾を受けておいてください。 ※公的な行事・イベント等で撮影された写真を優先的に掲載します。 ※お貸しいただいた写真は後日お返しします。

- お問い合わせ 長与町議会事務局 TEL:095-801-5700(直通)

町議会に対する町民意識調査のお願い

今回、長与町議会では、皆様の議会への関心など、議会に対するご意見をいただくために、「町民意識調査」を実施しています。18歳以上の長与町民の皆様から、無作為抽出された方を対象に発送しました。今後の議会活動・議会運営に活かしていきたいと考えていますので、ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

傍聴席から

9月議会の傍聴者は

延べ **50人** でした

皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

補助金について説明を

補助金のあり方について、初めて内容を知り、びっくりする事ばかり。しっかり調べた上で補助金は支出して欲しい。町報にて説明をしてください。とても興味ある質問でした。(70代)



次の定例会は **12月6日(火)** の予定です。傍聴をお待ちしています。

議長交際費

28年7月1日から9月30日までの総額と件数

寸志・慶祝など	35,000円(5件)
激励カンパ	10,000円(1件)
視察研修土産代	12,528円(3件)
支出合計	57,528円(9件)

議会情報を発信中！コメントをお待ちしております。

いいね！ をよろしくお願いします。

現在 **403名** (9月末)

QRコード

<https://www.facebook.com/nagayochogikai>

編集後記

議会だよりの表紙のテーマを「笑顔」として昨年の7月号から作成しています。一人でも多くの皆様にまず手に取っていただきたい、ページをめくっていただきたいという思いから決めたテーマです。しかしながら、写真を撮るのは非常に難しく、毎号苦戦しているところです。良い笑顔の表情というのは何気ない一枚の中から生まれるものだと感じています。まだまだ素人のカメラマンですが、議会の内容を町民の皆様にお伝えできるよう努力して編集に取り組みたいと思います。

議会広報広聴常任委員

- 委員長 金子 恵
- 副委員長 安部 都
- 委員 浦川 圭一
- 委員 中村 美穂
- 委員 分部 和弘
- 委員 岩永 政則
- 委員 吉岡 清彦
- 委員 竹中 悟



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOC ペジタブルインキで印刷されています。